

英米文学専攻卒業論文に関する規定

- 1) 論文指導 提出された論文テーマに基づき、専攻会議でそれぞれの指導担当者が決定される。決定された担当者の論文指導の授業には必ず出席し、指導を受けること。
- 2) 書 式 ワードプロソフトを使用し、以下の書式を基準とする。詳細は指導教員の指示に従うこと。天は40mm、その他の余白は30mmとり、ヘッダは30mmに指定する（通常天綴じなので）。
- | | |
|-------|--|
| 日本語論文 | A4 40字×30行・横書き。フォントは10.5p程度。 |
| 英語論文 | A4 1頁25行。
Times New Roman フォントの場合12p。 |
- 3) 長 さ 日本語論文 上記書式で15枚以上。
英語論文 上記書式で20枚以上。

上記字数、語数は「本文」の長さであり、空白、注、文献表、表紙、目次等はこれに含まない。

- 4) 体 裁 各論文は次の体裁に従う。
1. 表紙 論文タイトル、クラス番号および氏名を記載すること。
 2. レジюме 6)を参照のこと。
 3. 目次 ページ数を記入のこと。
 4. 本文
 5. 尾注 指導教員と相談の上、脚注とすることもできる。
 6. 文献表 指導教員の指示に従うこと。
(付録) 必要に応じて。
- ページ番号 上記4, 5, 6についてページ番号をふること。
- ファイル 1~6の順で専攻指定のファイルに綴じこむ。ファイル表紙には、題目・氏名・指導教授名などを記入した所定の用紙（ファイル、用紙とも明大サポートで頒布）を糊付けする。
- 5) 引 用 引用文は、日本語・英語その他を含め、原則として総枚数の4分の1以内とする。英語などの外国語の引用文には自分の訳をつけること。
(ただし、訳は規定の長さには含まない。)
- 6) レジюме 論文要旨を『卒論要旨集』のフォーマットに沿って作成すること。（デジタルデータを別途、指導教員に提出すること）
- 7) 提 出 提出日・場所・時間などについては、掲示にて発表される。なお事務室配布の卒論受取票に必要事項を記入し提出会場に持参すること。

当人が所定の手続きをへて提出すること。（時間厳守。遅刻者は失格となる。）

8) 面接試問 面接試問は1月末または2月初旬に行われる。日時は掲示にて発表される。その際、提出した論文のコピー及び使用したテキスト・参考文献などを持参すること。

9) 注意事項

文献の引用は適切に行い、盗用は決してしないこと。これらに関する詳細は、指導教員の指示に従うこと。

(2016年9月改訂)